

合格・成功・勝利 最終指南書

2025 年 10 月 19 日

(株)MMC

いよいよ本試験まであとわずか。最後の最後まで、皆さんよく頑張って戴きました。そこで、2次試験に臨む、受講生の皆さんに、私たち MMC の講師陣からエールを贈ります。最後の数日をどのように過ごすか、あるいは試験場での心構えなど、同じくこの時期を過ごし、合格を勝ち取ってきた私たちの経験を踏まえて綴ります。



徳川講師

最初に、ここまでこられた皆さんに敬意を表します。

いつもいつも、合格のために何を書けばよいか、それは合格再現答案にあることを思い出してください。皆さんは、中小企業診断士試験に合格して、中小企業診断士になるのです。出題者・協会に取り入りいって、その業界に入るわけではありません。

今一度、MMC合格者の高再現答案を見直し、短時間に普通の診断報告書を書くのだ、という確認をしましょう。合格達成（上位 20%入賞）が使命であり、高得点獲得（60 点以上確保）は、試験には無意味です。

得点ばかり気にして、自己満足的な手ごたえを求める答案は作成しないことです。一般的な中小企業診断士として、短時間に見栄え良く分かりやすいキーワードで書くだけでいいのです。

レベルでは、差はつきません。合否の微差を決めるのは、スピード・正確性です。基本問題を片っ端から処理していきましょう。

今の時期は、覚え忘れたものを確認するのではなく、これまで同様に、試験当日、いつもの解答・計算を、より正確に、より神速にしていくための練習時期です。

さらに合格のため、合格に貢献する練習を考えることです。今更、時間ばかりかかるような事例文解析・財務計算を見直しても速度・正確性は高まりません。事例文検文・計算検算をなくすことが、神速の早道です。そこまでいけば、ケアレスミスなどあり得ませんので、ご安心を。

不合格しないようにと不合格のことを少しでも考えれば、ミス回避のためのゆっくりした計算・事例文精読など速度が遅くなる復習をするばかりとなり、結果として基本問題の神速記述・神速計算の鍛錬を行った受験生に神速で解いた数で負けてしまうのです。

今知らないこと・分からないことが、合格後、中小企業診断士として必要となることは、絶対にありません。

最後に、本試験は、第5回模擬試験として考え、気楽に受けてください。いつもの解答さえ書けばよい、再現答案が即座に作成できるいつものキーワード・計算力の範囲で解答するだけです。そして、再現答案を必ず自分に課して解答記述してください。それが、即座に作成できるように解答するという事は、冷静にいつものキーワード・計算手順を踏んだことの証明にもなります。この気持ちで気楽に MMC 第5回模擬試験を、手ごたえを求めず処理してきてください。（再現答案の作成もお忘れなく、自分へのご苦労様ビールは、1 日延期しましょう）。そして、元気な笑顔を、速報会で拝見させてください。

全員が合格することを祈っております。 祈 合格！

長谷講師

いよいよ本試験の日が来ましたね。前日の夜は眠れましたか？ 寝れなかった方は、私がスパーリングで話したことを思い出し、「寝不足・体調不良＝普段通りの力が発揮できるチャンス」と考え、焦らないで下さいね。私の方からは、①調子の良かった時をそのまま再現するメリットと、②出題者に気に入られる方法をお伝えしようと思います。

① 調子の良かった時をそのまま再現するメリット

不合格だった年の休憩時間は、ひたすらファイナルペーパーやキーワード集を見ていました。しかし、見た言葉をすぐに使いたがる私には、この休憩方法が向いていないと気づきました。そこで、合格した年は、例年と異なる方法で臨みました。まず、試験前日に、自分の書き方と似ている講師の事例Ⅲの再現答案を見て「これなら自分でも書ける」と言い聞かせていました(笑)。そして、試験当日の休憩時間では、調子の良かった第4回MMC模試の「休憩時間」の過ごし方と同様にキーワード集は一切見ず、「携帯ゲーム」や「仮眠」「合格・成功・勝利のために、を繰り返し読む」などでやり過ごし、事例に目を触れないように意識しました。(※事例Ⅳ前の休憩時間の時だけポカミスノートを軽く読み返していました。) そのおかげで、試験開始後は、今まで習った「キーワードや型」を素直に置きに行く(使うこと)が出来ました。休憩時間中に何も見ないのは、不安に思う方も居るかと思います。しかし、この「合格・成功・勝利のために」を見ているMMC受講生も既に、私が合格した年と同じように、MMCで何回も繰り返し使ってきた「キーワードや型」が体に染み付いています。体に染み付いた「キーワードや型」は、ちょっとやそっとのことでは忘れません。本試験の会場では、最終確認を軽く済ませ、ご自身がリラックス出来る方法に専念しましょう。

② 出題者に気に入られる方法

出題者は、自分が事例文中や設問に使用したワードを使用してもらうのが大好きです。これは、事例ⅠからⅣ全てにおいて共通する点だと思います。そこで、出題者に気に入られるために、出題者が事例文中や設問中で使用したワードを積極的に使いましょう。例えば、出題者が「制度」というワードを使っていれば「人事」ではなく「制度」と書きましょう。「ファン化」というワードを使っていれば「固定客化」ではなく「ファン化」と書いてあげましょう。出題者は、自分の(事例の)ワードを使っている答案を見ると、採点がしやすくなるのではないかと思います。また、事例のワードを使用すると一般論に見えなくなります。この点からも、出題者が使用しているワードを使用することで、気に入られる答案＝点数が貰える答案になると思います。出題者に対して、全力でゴマすり(忖度する)気持ちで臨みましょう。

最後に、皆様がMMCで学んだことは、寝不足だろうが、体調不良だろうが、どんな状況下でも使えるようになっているはずです。そのため、本試験＝第5回MMC模試という気持ちで肩肘張りずリラックスして臨みましょう！皆様と口述試験対策講座で会えるのを楽しみにしています！

和田講師

いよいよ本試験ですね。様々な葛藤があったかと思います。受験当時は、「また落ちたらどうしよう。一年長すぎる」「自分なら余裕で合格できる」「なんでこんなに勉強しているのだろう。早く解放されたい」「以前は解けなかった財務が、今ではものすごくよく理解できている」「今週やりたかった勉強全然すすんでないじゃん」「もっとやりたけど、身体が追い付かない(眠い)」など、ものすごいふり幅で感情を揺さぶられていました。このような状況の中でも、合格をつかみとることができた、私が大切にしていた内容をお伝えしようと思います。それが、「誰が読んでもわかるように書く」、MMCでいうところの「型」になります。

みなさんこれまでの学習の中で様々なキーワードを覚えてこられたかと思います。第4回模試では、MMC受講生に限らず、他校からの受験生・独学での受験生など、多くの方々にも模試を受けていただきました。そして、多くの方々が、「対策のキーワードを活用して書く」、ということができていたように思います。必要なキーワードを書いたうえでどのように上位2割の合格を勝ち取るのか？それに必要なのが「わかりやすさ＝型」だと思っています。

- ・主語、述語はきちんと書けているか
- ・句読点は書けているか
- ・キーワードを羅列しただけの文章になっていないか(与件文を活用できているか)
- ・解答を読んだときに「何の事例が分かるか？(与件文を活用できているか)」、「どのような内容を問われた設問が分かるか？」

日常業務ではわかりやすい・伝わりやすい文章が書けているのに、なぜか中小企業診断士の2次試験となると、何を書いているのかわかりづらくなってしまいう症状に陥ることがあります。

それは「キーワードを置くことに意識が向きすぎている」「要素を詰め込むほど高い点が取れると錯覚している」ことなどが原因かと思います。

本試験では、「これはこういう意図をもって、このように書きました。」と採点員に説明することはできません。そのため、追加の説明をしなくてもわかるように書いてあげることが非常に重要になります。

普段みなさんが文章を書く時と同じ気持ちで本試験に挑んでいただければと思います

最後に。

何を書けばいいか全く分からない問題は、他の受験生もわからない問題です。決して諦めず（空白にせず）、設問や与件をふんだんに活用して、意地でも+1点を取りに行きましょう！

道家講師

いよいよ本試験が近づいてきましたね。みなさんの努力が結実するまであと一息です。

試験当日にみなさんがご自身のベストを発揮できますよう、自分の経験も踏まえてアドバイスさせていただきたいと思います。

①自分を信じる

合格した年は、MMCの講師陣からのメッセージ通り、「自分が今までに学習したことを答案用紙においてくるイメージ」で答案を書くことができました。答練で覚えた型・キーワードを駆使して、いつも通りの対応を冷静に行うことに努めました。学習を始めた時から振り返れば、みなさんの実力も確実に向上しています。ご自身の実力を信じて心乱れることなく、目の前の与件に取り組んでください。

②時間を活かしきる

これもMMC講師陣から毎回の講義の中でよく言われていたことですが、80分の時間を活かしきって、効率よく得点を稼いでください。見たことがないような設問も、1問、2問は出てくるかもしれません。しかし半分以上の設問に対してはいつもの対応で答えが導き出せます。戦うべき問題、高得点が狙えそうな問題を見極めて、与件文の修飾語を活用して他の受験生と差別化した解答を作成してください。

③泥臭く戦う

本試験は、1点の間に多くの受験生がひしめく大激戦です。合格ラインの2割に入るために、1点の重みを常に認識して、決してひらめきや思い付きに走らずに、いつも通りの答案作成を心がけてください。MMCで習ったキーワードを駆使して、マスを有効活用してください。事例Ⅳの文章題では計算ができなくても、公式だけでも書いてください。

④体調管理・メンタル管理

当日、緊張はピークに達するかもしれません。しかし、皆さんは毎週の答練や模試で、訓練されています。自分なりの勝ちパターンや成功体験もお持ちだと思います。心が乱れそうになった時には、そんな体験を思い出してください。

試験会場には色々な人がいます。自分以外の人間の動きに心乱されてはもったいないです。他人の挙動には一切無関心であることをおすすめします。

そして、ご自身がいつも通りの解答が書けるように、普段飲んでた飲み物やお弁当などを持参して、いつも通りに過ごしてください。

当日2次試験を受けられること自体が、皆様の合格への素晴らしい第一歩です。この機会を最大限に活かしきって、合格を手中に収められますことを祈念しております。

川口講師

皆様、お疲れ様でした。練習期間が終了し、あとは実力を発揮するだけの段階となりました。

当日までの過ごし方、マインドセット、受験テクニック etc、様々なアドバイスを各講師から頂戴してお伝えいたしました。それぞれに実践的であり且つ実体験に基づく有効で貴重なアドバイスは

かりです。是非、ご自分に合う方法を実践してみてください。そして、私からお伝えできるのも、この1点のみ、「自分に合うものを選択」して頂きたい、ということです。

私の場合、

当日は前だけみて振り返らない。合格答案を書くことだけに専念。

見たことがない問題は、ラッキー問題！誰もできないのだから何か書けば得点といった普段何気なく聞いている言葉が随分と支えになりました。

勝負に挑むときの心の有様は各講師が言われる通り「平常心」一択ですが、そこにいたる道筋は人それぞれに多種多様です。しかしこと「中小企業診断士第2次試験」合格については、ここにお伝えした内容であらかたの類型は出尽くしているかとおもわれます。あとは選択し実践していただければ、自ずと「知っている知識と身につけた書き方を使って、問われたことに適確に答える」という境地に至れるものと確信いたします。

そして、当日の朝、たとえ理想通りの体調でなかったとしても、多少眠れなかったとしても、また心が不安で満たされたままとしても、気にする必要はありません。それはそれとして受け流し、とにかく元気よく会場にいて設問に答えましょう。お仕事をなさっている方であれば、そんな朝はいくらでもあったかと思います。考えても意味のないことは後回しにしてくださいね。ネガティブなことは「考えない」のではなく、「後回しにする」と考える、のがポイントです。

もう一息、油断なく緊張もなく、実力を出しきりましょう。

**全員の合格をMMC講師一同、心より祈願いたします。
いつもの60点答案を時間内に仕上げる日になりますように！**

MMC講師一同